

大学リーグやまぐち

参加高等教育機関の概要

宇部フロンティア大学	1
山陽小野田市立山口東京理科大学	3
至誠館大学	6
下関市立大学	7
水産大学校	9
東亜大学	10
徳山大学	11
梅光学院大学	13
放送大学山口学習センター	14
山口学芸大学	15
山口県立大学	16
山口大学	19
岩国短期大学	23
宇部フロンティア大学短期大学部	24
下関短期大学	25
山口芸術短期大学	26
山口短期大学	27
徳山工業高等専門学校	28

平成28年10月

宇部フロンティア大学

宇部フロンティア大学は、100年の伝統と歴史を持つ香川学園を母体として2002年に開学。「人間性の涵養と実学の重視」を建学の精神とし、人間性をキーワードに学問領域を発展させ、社会のヒューマニズムに携わる人材の育成を行っています。

また、本学は、従来の縦に深く掘り下げていく専門に対して、専門と専門の間を横に連ね、広域的かつ総合的にものごとを捉え実践力に結び付ける俯瞰的視点に立った総合的教育・研究を特色としています。



<H28入学定員>

◆人間社会学部／福祉心理学科（70名）

◆人間健康学部／看護学科（80名）

◇人間科学研究科（前期：15名）

1 県内就職・定着の取組

（1）学内実習病院合同就職説明会

学内で県内実習病院の合同就職説明会を実施

2 高大連携・接続の取組

（1）連携協定（山口県立宇部西高等学校）

宇部西高等学校の生徒が、宇部フロンティア大学の時間割で開講されている特定の科目を、大学生と一緒に受講し、受講科目の成績評価に基づき、宇部西高等学校は高校の科目として単位認定

その生徒が宇部フロンティア大学に入学した場合、既修得単位として単位認定

3 地域貢献の取組

（1）子育て支援員研修

地域で子育て支援等に関心を持つ方に対し必要な研修を行い、修了者を「子育て支援員」として認定する「子育て支援員研修」を実施

国で定めた子育て支援員の研修（「基本研修」及び「専門研修」）を山口県が実施するにあたり、その企画・運営を本学が事業受託し、実施

（2）宇部市学童保育指導員人材育成研修

学童保育指導員に対する研修を実施

国で定めた子育て支援員の研修（「基本研修」及び「専門研修」）を宇部市の委託事業を本学で受託し、企画・運営

(3) 発達障害児等支援者サポート事業

発達障害児等支援者研修の実施、および発達障害児等に対する支援についての評価・助言を専門的見地から実施（宇部市教育委員会の委託事業）

(4) 発達障害等相談センター「そらいろ」

発達障害のある人（その疑いのある人を含む）と家族及びその支援者のための相談窓口としてのセンター運営

相談受付のほか、必要に応じて、発達状況を検査し、発達に応じた対応・支援方法の助言や関係機関の紹介、家族の交流の場の提供などの家族サポート、支援の仕方の助言や研修などの支援者育成（宇部市の委託事業）

(5) 多目的トイレ検索アプリ開発プロジェクト

宇部市ICT推進課が主導するアプリ開発事業に参画。企画・運営への教員参画、アプリ開発に伴う情報収集に学生が参画

(6) ボランティア等マッチング事業

行政や福祉団体、教育機関、地域団体等からのボランティア等の派遣要請に対して、マッチングを図り、コーディネーションを実施

(7) 公開講座事業

各種の資格取得等への対策事業等を実施

山陽小野田市立山口東京理科大学

1881年（明治14年）、山口県萩出身で松下村塾門下生の中村精男は、有志と共に東京理科大学の前身、東京物理学講習所を創設しました。1995年、114年の歳月を経て東京理科大学のルーツともいえる山口県に、公私協力方式で開学したのが山口東京理科大学です。科学技術を通して地域社会に貢献し、地域産業界のキーパーソンとなる人材の育成を教育理念としています。2016年4月から公立大学法人に移行し、行政の強みと東京理科大学の教育研究の強みを結合した「公立理工系大学」として地方創生に貢献します。



< H 2 8 入学定員 >

◆工学部／機械工学科（60名）、電気工学科（60名）、応用化学科（80名）

◇工学研究科（修士：15名）（博士後期：3名）

1 県内就職・定着の取組

（1）地域産業論

山口県の産業戦略及び県内の成長産業等を解説し、地域産業の現状を分析する授業を開講。学生が地域の課題を発見し解決に向けたプロセスを明らかにするプロジェクト学習を実施

（2）業界・企業研究セミナー

学生が業界動向や企業での仕事を理解するために山口県内企業で活躍されている方々を大学に招いて、セミナーを実施

（3）インターンシップの単位化

山口県インターンシップ推進協議会が実施するインターンシップを紹介し、県内企業でのインターンシップを推奨

（4）就職セミナー無料バス

山口県内の就職セミナーに無料バス送迎を実施

（5）就職相談

山口新卒応援ハローワークや山口県若者就職支援センターと協力して就職相談を実施

（6）学内会社説明会

学内で会社説明会を実施

（7）公務員受験対策講座

公務員を目指す学生に、公務員専門学校の講師による講座を前期・後期で開講

2 高大連携・接続の取組

(1) スーパーサイエンスハイスクール事業への協力

スーパーサイエンスハイスクール（SSH）指定高校の生徒に対し、大学にて実験実習と講義を実施

(2) 先端技術体験学習

山口県内の高校を対象に、大学の研究室・実験室にて、科学講義と先端技術の体験学習を実施

(3) P T A 大学見学会

山口県内の高校 P T A の皆様を対象に、大学の教育研究や学生生活を紹介する大学見学会を実施

(4) 理科教員のためのリカレントセミナー

高校理科教員を対象に、理科の授業を更に面白く魅力的にするために、講義と実験プログラムの体験を実施

(5) 高校への出張講義

山口県内の高校を対象に、大学教員を高校に派遣する出張講義を実施

(6) オープンキャンパス

全ての研究室を開放し、実際に高校生が実験やものづくりを行う体験型のオープンキャンパスを実施

3 地域貢献の取組

(1) やまぐち総合ビジネスメッセへの出展

山口県の商工労働施策を総合的に普及啓発するとともに、県内企業の情報発信と県内雇用の促進等を目的として、産学公金が一体となって開催する総合産業イベント「やまぐち総合ビジネスメッセ」に山口東京理科大ブースを出展

(2) かがく博覧会

山陽小野田市と連携し、市内の小学校、中学校、高等学校、大学、企業が一堂に会し、各学校や企業から科学の作品や実験体験ブースなどを出展する博覧会を開催

(3) サイエンスカフェ

市立図書館と連携し、市民と教員が、お茶を飲みながら身近な科学にまつわる話を市立図書館にて実施

(4) 教育・文化講演会

公開講座として大学の知的財産を広く地域住民の方に還元する教育・文化講演会を実施

(5) ほんものの科学体験講座

市内の小中学校を対象に、大学教員と学生を派遣し、科学を学ぶ楽しさや驚き、感動を体感する科学実験を実施

(6) ボランティアの単位化

地域貢献、地域振興を図ることを通して、社会人基礎力を養うため、学生が地域を中心とした行事等に参加

(7) 研究室公開

研究室を広く地域の皆様に公開し、工学の持つ魅力や可能性を市民の目線にてわかりやすく紹介。同時に、地元企業の皆様の技術開発や大学の装置利用の相談も受け付ける技術相談窓口を開設

(8) 受託研究等

① 受託研究・共同研究

企業や団体等からの研究課題に応じた研究を実施

② 技術指導

企業や団体等に研究者が指導助言を実施

至誠館大学

本学は、松下村塾を主宰とした吉田松陰先生の誕生の地・萩市にあり、1967年に設立された萩女子短期大学を母体とし、2014年4月に至誠館大学として新たな出発をしました。本学の名称は、吉田松陰の座右の銘である「至誠」に由来しています。

明治維新から1世紀以上を経た現代においても人々の心を鼓舞して止まないその志と教育への考え方、教育方法を手本とし、本学の理念、教育目標及び教育方法などに活かし、日本や世界で活躍できる人材を育成します。

萩市は現在も歴史と文化の街です。本学は、160年あまり前の松下村塾の塾生に負けない熱い志をもった様々な若者が集い大きく成長できる教育の場を提供します。



<H28入学定員>

◆ライフデザイン学部／ライフデザイン学科（240名）

1 県内就職・定着の取組

(1) 就職ガイダンスへの送迎バス運行

県内で開催される就職ガイダンス等への無料送迎バスの運行

(2) キャリアカウンセラーによる進路相談

ハローワークのキャリアカウンセラーと連携し、学内で個別の進路相談を実施

(3) インターンシップ参加支援

県内企業等へのインターンシップ参加支援

2 高大連携・接続の取組

(1) 出前講座の実施

高校からの要請に基づき出前講座を実施

(2) 公開授業の実施

公開授業への高校生の参加

(3) 運動部合宿の受入

本学施設を利用する高校の部活合宿を受け入れ、指導・交流

3 地域貢献の取組

(1) 公開講座及び出前講座の実施

① 市と連携して公開講座を実施（6講座）

② 各種団体等からの要請に基づき出前講座を実施

(2) 公開授業の実施

公開授業の実施（4科目）

(3) 萩スポーツ・文化センターの活動

地域関係団体と連携したスポーツ振興、健康・福祉の増進及び文化の向上の推進
県・市と連携した総合型地域スポーツクラブの設立の推進

(4) 大学施設開放

図書館の一般市民への開放、大学施設の貸し出し

下関市立大学

下関市立大学は、1956年、地元の勤労青少年有志の発案によって設立された夜間短期大学「下関商業短期大学」を起源とし、1962年に4年制大学として発足。

2007年に公立大学法人下関市立大学となり、社会の要請や学生のニーズに迅速に対応しうる運営体制の下、地域との信頼関係が一層強まっていく大学を目指しています。



< H 2 8 入学定員 >

◆経済学部／経済学科（195名）、国際商学科（195名）、公共マネジメント学科（60名）

◇経済学研究科（前期：10名）

1 県内就職・定着の取組

（1）学内企業説明会

学内で会社説明会を実施

（2）公務員受験対策講座

公務員を目指す学生を対象に、学内に専門の講師を派遣したうえで、1年間の受験対策講座を実施

（3）就職基礎講座

下関市内企業の人事担当者によるパネルディスカッションなどを実施

2 高大連携・接続の取組

（1）下関商業高等学校との高大連携

- ① 出張講義 及び 進学ガイダンスの実施
- ② 下関市立大学の授業への下関商業高校の生徒の受入れ
(本学の特別なものではない通常の授業に参加)
- ③ 下関商業高等学校保護者対象の大学説明会

（2）下関中等教育学校との連携事業

- ① 下関中等教育学校「5回生の下関市立大学ゼミ訪問」
(高校生が本学を訪問し、取り組んでいる研究について本学教員が指導・助言)
- ② 下関中等教育学校「2回生の大学体験」
(模擬授業及びサークル訪問・学食体験等)
- ③ 出張講義 及び 進学ガイダンスの実施

3 地域貢献の取組

(1) 各種研究事業

① 地域共創研究

地域課題解決に向けた研究を実施

② 関門地域共同研究

本学と北九州市立大学と共同で、関門地域に特有の課題を解決するための研究を実施

③ 国際共同研究

韓国の東義大学校との共同研究を実施

④ 受託研究

研究機関や自治体から受託した研究を実施

⑤ 資料室研究

鯨資料室やふく資料室に関する研究を実施

(2) 地域インターンシップ事業

教員と学生が地域に赴き、様々な課題解決に向けた活動を実施

(まちづくり団体の支援やJ Aと協力した農事組合法人の支援などが今年度の主な活動内容)

(3) 公開講座事業

開かれた大学として、保有する知的資源を市民に還元する公開講座等を実施

①市民大学公開講座、②市民大学出前講座、③市民大学テーマ講座、④開放授業等

(4) アーカイブ事業

下関を代表する水産資源たるクジラやフグについて、鯨資料室、ふく資料室を設置し、史資料の収集、保管、公開をするほか、毎年シンポジウムを開催し、情報を発信

(5) 審議会委員・講師派遣

地方公共団体や民間団体の審議会等の委員などへの就任要請には積極的に対応し、産学官の連携を強化

水産大学校

水産大学校は、74年の歴史を持ち、8000人を超える優秀な卒業生を水産界の第一線で活躍する幹部人材として社会へ送り出してきました。

水産に関する学理及び技術を行うことにより、水産業及びその関連分野を担う人材を育成することを教育理念として「水産政策・流通・経営等を重視したカリキュラム、海や水産物、魚食に慣れ親しむための教育やインターンシップ、水産行政・産業界へ貢献する研究活動」等の教育・研究を行っています。



< H28 入学定員 >

◆水産流通経営学科（20名）、海洋生産管理学科（45名）、海洋機械工学科（45名）
食品科学科（45名）、生物生産学科（30名）

◇水産学研究科（前期：10名）

1 県内就職・定着の取組

- 就職ガイダンス
- 公務員受験対策
- 企業訪問
- 専門家による就職相談
- 合同企業説明会、等

※ 毎年就職対策検討委員会によりその年度の事業内容が決定される。日常的には就職支援室が学生の相談に応じている。（県内のみを対象とした事業ではない。）

2 高大連携・接続の取組

- (1) 職場体験受け入れ等（リクエストに応じて受け入れを検討）
市内高等学校の学生の職場体験の受け入れ

3 地域貢献の取組

- (1) 公開講座の実施
毎年行われる学園祭時に、市民等を対象とした公開講座を実施
- (2) 市立しものせき水族館「海響館」オープンラボ
市立しものせき水族館「海響館」にて、本校教員が企画する24のテーマのオープンラボについて、一般市民等を対象に実施
- (3) 出前講義
26のテーマにて、本校教員が出前講義をリクエストに応じて実施
- (4) 下関市生涯学習まちづくり「出前講座」
16のテーマにて、本校教員が出前講義をリクエストに応じて実施
- (5) 受託研究等
- ・ 地域の企業・自治体等との間で実施する受託研究及び共同研究
 - ・ 地域企業・自治体等の要請に基づく講師派遣

東亜大学

東亜大学は、今日まで「他人のため汗を流し、一つの技術を身につける」を目標として、実学重視の教育を進めてきました。これからも、次々に変化する社会に対応し、幅広い視野のもとに、責任を持って仕事を進めていくことができる人材を育成するための教育を行います。

また、大学生としての4年間では、卒業後の短期的な見通しだけでなく、人生全体の展望を見据え、生きていくための力を培うことも肝要です。そのために東亜大学では、総合大学の特色を生かして教養科目についても充実させています。



<H28入学定員>

- ◆人間科学部／心理臨床・子ども学科（40名）、国際交流学科（40名）、スポーツ健康学科（80名）
- ◆医療学部／医療工学科（80名）、健康栄養学科（40名）
- ◆芸術学部／アート・デザイン学科（20名）、トータルビューティ学科（20名）
- ◇総合学術研究科（前期：114名）（後期：14名）

1 県内就職・定着の取組

(1) 就活サポートプログラム

学生が就職活動を的確に行えるよう、就職活動の各段階に応じて「履歴書・エントリーシートの書き方講座」や「自己PR講座」など多数提供

(2) 学内企業説明会

企業に来学頂き、会社説明会を開催

(3) 合同企業説明会バスツアー

県内外を問わず、企業説明会バスツアーを就職担当者帯同のもと実施

2 高大連携・接続の取組

(1) 出張講義

本学教員が高等学校に出向いて、専門分野の講義を行う「出張講義」を実施（平成27年度のテーマ数は全学で88）

3 地域貢献の取組

(1) 子ども未来塾

近隣の小学校児童を対象に、遊びや運動、勉強を本学学生が支援するボランティア組織として活動

(2) 国際交流センターによる留学生派遣

留学生に日本の文化、社会を体験してもらうため、下関市内で行われる様々なイベントに留学生を派遣

(3) コミュニティクラブ東亜

本学を拠点にして組織され、地域の人々が集って様々な活動を実施
本学の教員・学生も参加し、教室や体育館などを開放

徳山大学

徳山大学は、1971年に地元市議会の要請を受けて誕生した私立大学です。社会の要請に応じ、産学共同の立場に立って、広い知識と高い人格を備えた人材を養成することを目的として設立されました。多様化する現代において、すべての卒業生が社会で尊敬され、活躍していくために、学生1人1人を大切にする教育を目標にしています。

教育の特徴は、「学&遊」で学ぶ「人間力教育」です。社会で求められるのは、自分を活かし、他人を活かすことができる人間力です。スポーツなどの課外活動は、これを実践的に学ぶ場であり、全学的に奨励しています。



<H28入学定員>

◆経済学部 / 現代経済学科 (80名)、ビジネス戦略学科 (150名)

◆福祉情報学部 / 人間コミュニケーション学科 (50名)

1 県内就職・定着の取組

(1) COC

山口大学・山口県立大学をはじめ県内大学と連携し、山口県東部地区の拠点校として、学生の県内就職を促進

(2) 学内企業説明会

県内企業の参加に重点を置き、学内にて会社説明会を実施

(3) ハローワークとの連携による学内企業説明会

学内にて、ハローワークと連携し、地元企業を中心にした説明会を実施

(4) 公務員講座

1年次～4年次実施

(5) 県内企業説明会へのバス送迎

県内就職関連事業への無料バス送迎

2 高大連携・接続の取組

(1) 大学教育再生加速プログラムによる高大連携

アクティブ・ラーニングについて、地域教育力の向上を図るため、地域の高等学校の教員を招き研究会を開催

(2) 山口県桜ヶ丘高等学校との包括連携協定

①本学教員による出張講義の実施

②大学祭、文化祭、課外活動、他各種行事における交流・支援活動の実施

(3) 出張講義

本学教員による授業について、要請のあった高校に出向き授業を実施

(4) 合宿受入

本学を会場とする高校生によるスポーツクラブを中心とした合宿での指導、交流

(5) インターンシップ受入

山口県立徳山商工高等学校、山口県立下松工業高等学校、山口県立熊毛北高等学校からのインターンシップ生を受け入れ、実習を実施

3 地域貢献の取組

(1) 公開講座（学生と共に一般市民の方も受講）

- ① 地域文化講座-周南学Ⅰ
- ② 地域と産業-周南学Ⅱ
- ③ 「小規模オーナー企業論」

(2) 地域貢献研究及び受託研究

本学の持つ研究・教育機能を活用し、地域の課題解決や教育力の向上への貢献を目的として、地域振興、産業振興、学校教育の3分野を対象とした研究

(3) 吹奏楽クリニック

本学客員教授で山口県吹奏楽連盟理事長中井勝氏による、吹奏楽の指導練習会を実施するなど、音楽活動を通じて、地域の小・中・高等学校・一般の幅広い世代による交流を促進

(4) ヘルシーカレッジとくやま

学内の設備を利用して、健康づくり、教養、趣味などの分野で60講座を開講、年間のべ3,600名が受講

(5) 夏休み地域ゼミ走り方教室（かけっこで1等賞をめざそう）

本学陸上競技部監督監修のもと、地域の小学生（4・5・6年生）を対象に、夏休みに走り方教室を実施（実技指導は、本学陸上競技部の学生）

(6) スリーアローズ吹奏楽団

西京銀行・山口県桜ヶ丘高等学校・徳山大学3団体の吹奏楽部が合同で演奏活動を行い、地域イベントなどに参加

梅光学院大学

ミッションスクールとして144年の歴史を持つ本学は、「強くしなやかな精神と、新しい世界を切り拓く能力を、他者のために用いることのできる人間を育てる」を教育理念とする、2学部2学科7専攻の大学です。

深いキリスト教精神と、高い学問レベル、梅光ならではの温かいコミュニケーションによって成長した学生たちの70%は地元で就職し、就職率は毎年95%を超えています。梅光学院はこれからも、地域社会になくてはならぬ大学として、歩み続けます。



<H28入学定員>

◆文学部 /人文学科 (190名)

◆子ども学部/子ども未来学科 (100名)

◇文学研究科 (前期: 12名) (後期: 4名)

1 県内就職・定着の取組

(1) 学内企業説明会

学内で会社説明会を実施

(2) 教員養成および公務員講座

教員や公務員を目指す学生に対し、東京アカデミーと提携した対策プログラムを開講

(3) 就活セミナー無料バス

県内の就職イベントへの無料バス送迎を実施

2 高大連携・接続の取組

(1) 夏季集中英語講座

英語の楽しさ実感し、更に英語への学習意欲を高めてもらうことを主たる目的として、近隣の高等学校生(1~3年生)を対象に、本学教員を中心に複数のアクティブな英語の授業を展開

(2) ①国語研究会、②英語研究会

日常の双方の研究成果を共有し、今後の活動に活かしていくことを目的として、県内外の高等学校の国語教員及び英語教員と本学の日本文学及び英語を専門とする教員による合同の研究会を開催

3 地域貢献の取組

(1) アルス梅光

社会人の「知の欲求」(学びたい心)に応えることを目的とする生涯学習事業として、日本文学、外国語(英語・韓国語・中国語)を中心に20以上の講座を有する公開講座を開催

放送大学山口学習センター

放送大学は、テレビ、ラジオ、インターネットを利用して、「いつでもどこでも誰でも」学ぶことができる文部科学省、総務省所管の通信制大学です。

1983年に設置され、これまでに130万人以上もの学生が学び、9万人を超える卒業生を送り出しており、現在全国で約9万人の学生が学んでいます。

卒業すれば、「教養学士」の学位が取得でき、また大学院も併設し、修了すれば「学術修士」や「学術博士」の資格が得られます。修士修了及び博士修了を目指す学生を除いて入学試験がありません。「学びたい気持ち」が入学資格です。

仕事をしながら、自分の好きな時間に約300科目の中から興味のある科目を自分で選択して学ぶことができます。短期大学や専門学校を卒業後、3年次に編入して大学卒を目指す学生も多数います。また、他大学を何らかの理由で退学された方がそれまでに習得した単位を生かして本学への編入も可能です。逆に、本学から他大学への編入や、本学卒業後、他大学院への進学も可能です。



1 地域貢献の取組

(1) 地域における学び直しの機会の提供、就職後のキャリアアップ支援

- ① 社会人が学びやすい環境を整備するため、短期プログラムの設定や通信による教育、ICTの活用充実
- ② 24時間いつでも学び、キャリアアップを図ることができるe-ラーニングを活用した教育プログラムの提供
- ③ 職業生活と学習活動とを往還し、知識・技能等の習得・更新を図ることができ、様々なライフステージを通じた遠隔授業を活用した学習機会の提供

(2) 学習機会を保障するための障害者支援、経済的理由から通学制大学等で学修できない若者の支援

- ① 身体や心に障害を持っている方にとっては自宅に居ながらにして学修可能。特に、集団に溶け込めない若者など精神的配慮を必要とする高校生に対する学修に柔軟に対応
- ② 放送大学で大学卒業資格を取得するまでの学費は、他の高等教育機関と比較してきわめて安価であり、学期毎に履修科目分の授業料を支払うことで生活状況に応じた学修が可能

山口学芸大学

山口学芸大学は、乳幼児から小学生までの子どもの成長をトータルに理解・支援できる専門知識とスキルを備えた教育者・保育者の養成を目指し、平成19年4月に開学。

本学では、豊かな感性や創造性をはぐくむ上で重要な「芸術を基盤とした教育」や、学生一人ひとりの進路希望や能力を把握し、十分にコミュニケーションをとりながら支援する「きめ細かな少人数教育」を基に、「子どもの教育のスペシャリスト」の養成を目指します。



< H28 入学定員 >

◆教育学部／教育学科（70名）

◇教育学研究科（前期：5名）

1 県内就職・定着の取組

（1）三者就職相談会

学生、保護者との就職相談会を実施し、就職担当者から県内企業の採用情報等を積極的に提供

2 高大連携・接続の取組

（1）グループ校連携（慶進高等学校）

- ① 慶進高校からの大学見学会・模擬授業体験の実施
- ② 慶進高校祭での大学紹介ブースの設置
- ③ 姉妹校推薦入試の実施
- ④ その他

（2）グループ校連携（成進高等学校）

- ① 成進高校オープンキャンパスでの交流活動
- ② 姉妹校推薦入試の実施
- ③ その他

（3）大学見学会・出前授業の実施（依頼のあった高校に対し、実施）

- ① 山口学芸大学及び山口芸術短期大学への見学会実施
- ② 山口芸術大学及び山口芸術短期大学による出前授業の実施

3 地域貢献の取組

（1）夏期講座

小学校・幼稚園・保育所の教育者、保育者を対象とした各種講座及び全体講演を実施

山口県立大学

山口県立大学は、「人間性の尊重」、「生活者の視点の重視」、「地域社会との共生」、「国際化への対応」の4つの基本理念を掲げ、人々の暮らしに身近な領域として、国際文化学部、社会福祉学部、看護栄養学部の3学部と2つの大学院を設置し、地域の要望に応えることができる「地域貢献型大学」として、優れた人材の育成や研究の成果を地域に還元してきました。

本学は、地域における知の拠点として、住民の健康の増進及び地域文化の進展に資する専門の学術を教授研究するとともに、高度な知識及び技能を有する人材の育成並びに研究成果の社会への還元による地域貢献活動を積極的に展開し、人々が生き生きと暮らせる社会の形成に資することを目指しています。



< H 2 8 入学定員 >

- ◆国際文化学部／国際文化学科（62名）、文化創造学科（52名）
- ◆社会福祉学部／社会福祉学科（100名）
- ◆看護栄養学部／看護学科（55名）、栄養学科（40名）
別科 ／助産専攻（12名）
- ◇国際文化学研究科（前期：10名）
- ◇健康福祉学研究科（前期：10名）（後期： 3名）

1 県内就職・定着の取組

（1）キャリアサポート事業

学内で県内企業の会社説明会、キャリアカウンセリング、各種の就職活動セミナーの実施をきめ細かく展開

（2）公務員講座等

公務員採用試験、教職採用試験、各学科等との連携による各種国家資格試験等についての対策講座を実施

（3）インターンシップ等

全学共通科目（正課）のインターンシップに加えて、任意（課外）のインターンシップを実施し、年間100名以上の学生をインターンシップに派遣

（4）就活セミナー無料バス

県内の就職イベントへの無料バス送迎を実施

（5）学科別ジョブカフェ

県内等に就職した先輩を招いて、企業・専門職等の実態を聴く会を開催

2 高大連携・接続の取組

(1) 包括連携協定（野田学園高等学校）

- ① 公開講座及び出前講座の実施
- ② 県立大学生の教育実習等への協力、高校教員による教育実習前教育
- ③ 大学祭・学園祭・課外活動等における協働交流事業
- ④ 高校生の1日大学体験プログラム、その他

(2) 英語教育連携協定（県立華陵高等学校）

- ① 英語教育に関する高大接続のあり方に関する調査研究
- ② 大学教員と高校教員による双方向の英語科教育法講義
- ③ 県大における高校生講座への参加
- ④ 高校における大学生による模擬講義の実施、その他

(3) SSH、SGH等に関する連携協定（県立宇部高等学校）

- ① 大学教員を宇部高校へ講師派遣
- ② 県大の授業への高校生徒の受け入れ
- ③ 県大の各種講座への高校生徒の受け入れ
- ④ SGHの実施プログラムに関するアドバイス、その他

3 地域貢献の取組

(1) オープンカレッジ事業

大学の専門的教育機能を、公開講演会や公開講座等を通じて、直接的に地域の皆様に提供

- ① サテライトカレッジ
県内の市町と連携して、地域のニーズに合わせた出前型講座を開催
- ② 公開授業
大学生が受けている授業科目の一部を一般県民に公開
- ③ キャリアアップ研修
教育・福祉・医療等分野の専門職向けのスキルアップ研修

(2) 受託研究等

- ① 受託研究・共同研究
企業や自治体等のニーズに応じて、調査研究やデザイン開発等を受託
- ② 学術指導
企業や団体からの委託を受け、教員が専門知識に基づき指導助言を行う

(3) 桜の森アカデミー

生涯現役社会を主体的に担う人材や地域リーダーを育成する「共生教育」を実施

- ① やまぐち学マイスターコース（H28受講者数：39名）
- ② 子育てマイスターコース（H28受講者数：44名）
- ③ 在宅ケアマイスターコース（H28受講者数：24名）

(4) 地域交流スペース Y u c c a

山口県立大学地域交流スペース Y u c c a (ユッカ) は、学生・教職員と地域を結ぶ交流拠点

- ① 子育て事業 (B a b y C a f e)
地域の親子同士が交流できる場
- ② 子育て事業 (子育てピアカウンセリング)
未就学児を子育て中のママ達の語り合いの場
- ③ 心とからだの相談室
Q O L (生活の質) を高めるための支援
- ④ Y u c c a サロン
ボランティアに興味がある学生と市民活動団体との出会いの場の創出
- ⑤ クールシェア・ウォームシェア
みんなで集まって省エネ・節約の取組

(5) 中山間地域づくりサポートセンター

県内の大学生や専門学校生等により、地域づくりを支援する取組が安定的に発展・継続できるよう支援するための組織

- ① 大学生等の外部人材による新しい発想等を活かした中山間地域における実践活動を募集
- ② 県外大学が地域づくりに参画し、中山間地域再生に向けた先導的モデルの創出
- ③ 民間団体・一般県民等による地域づくり支援事業
- ④ 企業の社会貢献活動を、地域づくり活動への支援に誘導
- ⑤ 中山間地域元気創出アドバイザーの派遣
- ⑥ 中山間地域づくりコーディネーターの派遣

山口大学

山口大学は、9学部9研究科からなる総合大学です。

1815年（文化12年）、長州藩士 上田鳳陽によって創設された私塾「山口講堂」が源流であり、2015年に創基200周年を迎えました。また、新たな世界へのチャレンジ精神に満ちた独特の風土により、明治維新を成し遂げた地にある大学です。この精神は、大学の理念「発見し・はぐくみ・かたちにする 知の広場」に受け継がれ、教育・研究・社会貢献の3本の矢により地域の発展、日本そして世界の発展に貢献することを目指しています。



< H 2 8 入学定員 >

◆人文学部／人文学科（185名）

◆教育学部／学校教育教員養成課程（180名）

◆経済学部／経済学科（130名）、経営学科（165名）、観光政策学科（50名）

◆理学部／数理科学科（50名）、物理・情報科学科（60名）、生物・化学科（80名）、地球圏システム科学科（30名）

◆医学部／医学科（107名）、保健学科（120名）

◆工学部／機械工学科（90名）、社会建設工学科（80名）、応用化学科（90名）、電気電子工学科（80名）、知能情報工学科（80名）、感性デザイン工学科（55名）、循環環境工学科（55名）

◆農学部／生物資源環境科学科（50名）、生物機能科学科（50名）

◆共同獣医学部／獣医学科（30名）

◆国際総合科学部／国際総合科学科（100名）

- ◇人文科学研究科（前期：8名）
- ◇教育学研究科（"：41名）
- ◇経済学研究科（"：26名）
- ◇医学系研究科（"：12名）（後期：38名）
- ◇創成科学研究科（"：446名）（"：44名）
- ◇東アジア研究科（"：—）（"：10名）
- ◇技術経営研究科（"：15名）
- ◇連合獣医学研究科（"：—）（"：12名）
- ◇農学研究科（"：—）

(2) 就職支援室によるキャリア教育・就職支援事業

○ 学内業界・企業研究会

山口大学の学生が、業界動向や会社・仕事をより深く、よりリアルに理解できるように、経営者・人事担当者、また、本学の卒業生など会社等で活躍されている方々をキャンパスに招いて実施

山口県内企業・県内事業所のみを集めた「やまぐち d a y」を設定し、県内他大学の参加も呼びかけたイベントも開催

○ 学内企業説明会

企業・団体による、採用に係る説明会を学内で開催

○ インターンシップ情報の提供

大学宛に届いたインターンシップ情報を学生に向けて情報発信

山口県インターンシップ推進協会が実施するインターンシップについても積極的に情報発信

○ 学内セミナー

就職活動の参考となる各種セミナー（面接練習会、エントリーシート勉強会など）を開催

○ 就職相談

学生の就職活動への悩み・相談事項等に対応

山口新卒応援ハローワークや山口県若者就職支援センターとも連携した相談対応

(3) 公務員講座・教員採用試験対策講座、各種資格取得講座の開催

学内の各機関が、学生向けに講座を開講

○ 資格の大原

「O-HARA山口大学 就職支援施設」を学内に設置し、公務員講座や、簿記・税理士、公認会計士等の資格取得講座を開設

○ 山口大学生生活協同組合

公務員講座、教員採用試験対策講座を開設

2 高大連携・接続の取組

(1) 出前講義

高等学校の授業では体験できない学習内容を受講し、大学の授業の雰囲気を感じてもらおうことで、生徒たちの高度な学習への意欲を引き出し、大学そのものに興味を持ってもらうことを目的として、山口大学の専門教育の内容を、高等学校等に出向いてわかりやすく講義をする出前講座を開催

(2) オープンキャンパス

学内施設を公開し、本学への関心を深めていただくイベント

(3) スーパーサイエンスハイスクール事業等への協力

スーパーサイエンスハイスクール指定校への支援・協力（大学が開講する講義等への高校生受入、高等学校からの依頼による実習等の受入）、「やまぐちサイエンス・キャンプ」への協力など

3 地域貢献の取組

(1) 地域未来創生センター

- ・ 地方創生に関する相談窓口機能
- ・ 地域課題の解決支援（地域課題と学内リソースとの橋渡し機能）

(2) 山口学研究センター

山口県における自然，文化，歴史，産業，観光，流通，教育等に関する研究を推進するとともに，その成果を活用し，地域社会の活性化に寄与することを目的として，「山口学研究センター」を設置

(3) 受託研究等

大学等の研究成果の社会還元を推進し，地域の活性化に資するため，民間企業や自治体等と連携し，受託研究・共同研究等を実施

(4) 公開講座・開放授業

- 公開講座
山口大学が持つ人的・物的機能や教育・研究を広く開放し，地域住民の方の知的好奇心に応えることを目的に開講
- 開放授業
山口大学が学生のために行っている授業を広く地域住民に開放し，学生と一緒に受講

(5) 人材育成・社会人の学び直し支援

(事例)

- 教員育成
本学教職大学院を中心に，教育委員会・県内他大学と連携・協働し，資質能力の高い教員を育成
- 高度人材養成
産業界等と協働して，社会人のキャリアアップに必要な高度かつ専門的な知識・技術・技能を身につけるためのプログラムを構築

岩国短期大学

岩国短期大学は、山口県東部における唯一の高等教育機関として、昭和 46 年（1981 年）に設立され、今年で創立 45 年周年となります。開学以来の学科である幼児教育科の卒業生は 6500 名を超え、近隣の地区はもとより、多くの地域で優れた保育者として活躍しています。

本学の建学の精神「楽学」において、絶えざる人格の錬成と教育の実践を遂行し、教育理念として、「人間性を練り鍛え、豊かな人間形成を図る。地域に生きて働く人材の養成」を掲げ、開学以来、地域に優れた人材を輩出してきました。

昨今の保育士不足問題、とりわけ子ども・子育て支援を巡る諸施策からわかるように、保育者に対する社会の期待はますます大きくなるばかりです。本学も歴史と伝統に甘んずることなく、これからの時代を見据え、優れた人間性と技術を兼ね備えた保育者を輩出していくことが使命と感じ、教職協働のもと日々研鑽を重ねています。



< H 2 8 入学定員 >

◆ 幼児教育科（80名）

1 県内就職・定着の取組

（1）就職ナビ i n いわたん

岩国市内の幼稚園・保育園を招聘しブース形式で展開する実習・就職支援のための取り組み（今年度第1回）

2 高大連携・接続の取組

（1）高大連携協定

岩国市内の高等学校 2 校と高大連携事業に関する協定書の取り交わしを実施。
その他、高大連携出前授業のリーフレットを作成、平成 2 7 年度に約 2 0 回の出前授業を実施

（2）中大連携

岩国市内の中学校 2 校と高大連携事業に関する協定書の取り交わしを予定

3 地域貢献の取組

（1）岩国子育て支援ネットワーク

平成 2 3 年に設立

岩国幼稚園協会、岩国市保育協会、独立行政法人岩国医療センター、岩国市保健センター、岩国短期大学による子育て支援のためのネットワークで、親子広場、保育者対象研修会、Iwatan 親子フェスタを毎年開催

宇部フロンティア大学短期大学部

本学は山口県で最も歴史のある短期大学です。学生一人ひとりのニーズに沿った学問の追及と支援体制の充実を目指し、即戦力として社会で輝ける人材を育成しています。また、教養教育科目も充実し、社会人として必要となる基礎知識、一般常識も培います。

特色は、多くの実習時間を確保し、さらに地域連携のカリキュラムが充実していることから体験型・実践型で学ぶことです。また、アットホームな雰囲気、経験豊富な教育の親身な指導も魅力としてあげられます。



<H28入学定員>

◆保育学科（80名）、食物栄養学科（50名）

1 高大連携・接続の取組

（1）連携協定（宇部フロンティア大学附属香川高等学校）

附属香川高等学校の生徒が、宇部フロンティア大学短期大学部の時間割で開講されている特定の科目を、短大生と一緒に受講し、受講科目の成績評価に基づき、附属香川高等学校は高校の科目として単位認定

その生徒が宇部フロンティア大学短期大学部に入学した場合、既修得単位として単位認定

下関短期大学

本学は、「人としての温かさや優しさを備え、礼儀と節度をもって自らの心を磨く」という「温雅而尚礼節」を教育理念に掲げ、地域社会で活躍する多くの人材を輩出してきました。

栄養健康学科、保育学科ともに「人間愛」を基盤とし、学生一人ひとりの主体性を引き出す教育と個に寄り添った教育活動を展開しています。良識と実践力を備え、社会に貢献する多彩な人材を育てます。



<H28入学定員>

◆栄養健康学科（30名）、保育学科（50名）

1 県内就職・定着の取組

(1) 学内就職ガイダンス

学内で企業説明会、キャリア教育を実施

2 高大連携・接続の取組

(1) 下関短期大学附属高等学校との連携

下関短期大学の教員による出前講座の実施

3 地域貢献の取組

(1) 公開講座

下関短期大学の教員による公開講座を実施

平成28年度は以下の講座を開催

- ①「おいしいね たのしいね！」
親子（幼児）向け遊びと料理教室
- ②「おやじの味 料理教室」
調理経験の少ない男性対象の料理教室
- ③「みて つくって 楽しんで」
展示・ワークショップ
- ④「作ってみよう 竹楽器」
小学生以上を対象とした竹楽器作り体験

山口芸術短期大学

全国でも数少ない芸術系短期大学である本学は、昭和43年4月、初代理事長二木謙吾が明治維新100年を記念して、郷土の先覚者・吉田松陰先生が説く「至誠」を建学の教育理念として開学しました。

以来、新しい時代が求める芸術文化の創造と継承をめざして歩んできました。本学の教育内容の濃さは4年制大学に比べて少しの遜色もなく、特に幼児教育においては山口県における人材育成の中心的役割を果たしてきました。

芸術や文化は心を豊かにするとともに、無限の未来に立ち向かう人間の夢と想像力の源となるものです。

本学はこれからも建学の理念のもと、学生と教員との心のコミュニケーションづくりと学生支援の充実をモットーに、芸術文化を愛し、人間性豊かな格調高い人格形成を目的とした教育を追及していきます。



<H28入学定員>

◆保育学科（120名）、芸術表現学科（70名）

1 県内就職・定着の取組

(1) 三者就職相談会

学生、保護者との就職相談会を実施し、就職担当者から県内企業の採用情報等を積極的に提供

(2) インターンシップ

山口県インターンシップ推進協議会との連携により、県内の企業や官公庁でのインターンシップを推進

(3) 職場見学

学生が希望する県内企業、施設等の見学会を実施し、企業等と学生との相互理解を促進

2 高大連携・接続の取組

(1) グループ校連携（慶進高等学校）

- ① 慶進高校からの大学見学会・模擬授業体験の実施
- ② 慶進高校祭での大学紹介ブースの設置
- ③ 姉妹校推薦入試の実施
- ④ その他

(2) グループ校連携（成進高等学校）

- ① 成進高校オープンキャンパスでの交流活動
- ② 姉妹校推薦入試の実施
- ③ その他

(3) 大学見学会・出前授業の実施（依頼のあった高校に対し、実施）

- ① 山口学芸大学及び山口芸術短期大学への見学会実施
- ② 山口芸術大学及び山口芸術短期大学による出前授業の実施

3 地域貢献の取組

(1) 夏期講座

小学校・幼稚園・保育所の教育者、保育者を対象とした各種講座や全体講演を実施

山口短期大学

本学では、開学以来「至心」を教育理念に“学問と誠心（まことごころ）の調和”をモットーに“人間づくり”を推進しています。

本学においては、単に社会ですぐに役立つ知識やスキルを研究・教授するだけでなく、むしろ根本となる原理原則を大切に、応用する力の育成を図ろうとしています。

現代社会の多様なニーズに対して積極的にリードしていく役割が要請される昨今、すぐに陳腐化してしまう目先の先端技術より、十分な基礎力と柔軟な思考力を培うことこそが、本学の教育方針です。また、「国際化」、「情報化」、「地域に開かれた大学」を提唱する本学においては、広い視野からさまざまな課題の解決ができる人材の育成をも心がけています。



< H 2 8 入学定員 >

◆ 児童教育学科（100名）、情報メディア学科（50名）

1 県内就職・定着の取組

(1) 山口県福祉人材センター登録説明会

山口県福祉人材センターの担当者を招き、センターへの登録説明会を学内で開催

(2) 各種学習会

山口県公立学校教員採用候補者選考試験（小学校）や山口県私立幼稚園教員採用候補者選考試験に向けた学習会の開講

(3) ふるさと山口企業合同就職フェアへの参加促進

就職フェア参加に向けた説明会の実施及び山口会場における参加学生への就職活動支援

2 高大連携・接続の取組

(1) 高大連携「出前コンサート」（防府商工高等学校 定時制）

本学教員及び非常勤講師によるミニ音楽会を本学オープンカレッジにて実施

(2) 出前講義

山口県内の全高校への本学出前講義メニューリストの配布
高校からオファーがあったテーマへの講師派遣

3 地域貢献の取組

(1) 地域連携センター

山口短期大学の教育資源やその成果を用いて地域と連携し、地域の経済、文化、健康等に貢献する際の拠点として機能することを目的とする組織

- ① 地域連携及び地域貢献活動の組織的取り組みの企画立案
- ② 地域連携及び地域貢献活動の総合窓口
- ③ 大学の教員又は組織の地域連携及び地域貢献活動の支援
- ④ 地域のニーズの把握

(2) 「家庭の日」親子ふれあいイベント

毎月第三日曜日「家庭の日」における親子を対象としたイベントの企画・運営

- ・ イベントの企画・運営とともに学生が主体となり、防府市教育委員会教育部生涯学習課との協働で、防府市大平山や防府天満宮にて親子向けの工作や遊びのイベントを実施

徳山工業高等専門学校

本校は、時代の強い要望により、昭和49年6月に設立された国立工業高専です。学科は、機械電気工学科、情報電子工学科、土木建築工学科の3つの複合学科より成り、それぞれの境界領域を含めた専門分野において基礎理論の習熟とともに実験実習に重点をおいた教育を行い、総合判断力に優れた実践力のある開発型技術者の育成をめざしています。



< H 2 8 入学定員 >

◆機械電気工学科（40名）、情報電子工学科（40名）、土木建築工学科（40名）

1 県内就職・定着の取組

（1）合同企業研究会

学校内において、企業研究会を実施

（2）徳山高専OB・OG人材還流事業

帰郷就業及び県内再就労を希望する徳山高専OB・OGに対して地元企業とのマッチングを支援

2 地域貢献の取組

（1）共同研究等

① 共同研究・受託研究

地域産業界の具体的な諸問題解決のための共通テーマを設定し研究を実施

② 技術相談

科学技術や新商品に関する相談に応じると共に、課題解決及び調査研究を実施

（2）地域生涯学習事業

① 公開講座・出前講座

社会人に対する学習機会の一層の充実・拡大及び小・中学生に対する科学技術教室への参加の機会を提供

② 夢広場イベント

本校の学生・教職員による各種イベント、講座及び展示をサテライトオフィスである徳山高専夢広場で実施

（3）徳山高専テクノ・アカデミア事業

① 連携・交流強化活動

地域企業経営者・実務担当者と教職員が一堂に会し、相互交流を促進するための情報交換を企画・実施

② 人材育成活動

各種技術講演会、技術研修会、人材養成講座により地域企業技術者の専門知識を深め技術力向上に貢献

③ 産学連携教育支援活動

徳山高専本科生・専攻科生及び徳山高専OB・OGへの支援ならびに相互の交流促進により地元産業発展に貢献できる人材育成を支援